

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15136

準用河川改修事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	2	河川・水路の整備
取組方針	1	準用河川及び普通河川の改修

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	曾山 誠	435-1090
事業実施の根拠法令			関連課				

## 1 事業内容

		(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	【前代川】	前代川が合流する和田川への放水路の新設及び河道改修を行い、吉礼地区の浸水被害の軽減を図る。		【前代川】	吉礼地区の浸水被害を解消するため、合流する和田川への放水路の新設及び河道改修を行う。 事業の流れとしては、 設計→測量→用地取得→工事→竣工			
	【永山川】	永山川の河道断面確保のため河道改修及び永山川に合流する平尾川からのバイパスの新設を行い、西山東、東山東地区の浸水被害の軽減を図る。		【永山川】	浸水被害を解消するため、永山川の河道断面の河道改修及び永山川に合流する平尾川からのバイパスの新設を行う。 事業の流れとしては、 設計→測量→用地取得→工事→竣工			
事業内容			平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
			【前代川】 地盤改良 270m 護岸改修 410m 【永山川】 詳細設計 1式 (橋梁等) 用地購入 1式	【前代川】 地盤改良 100m 護岸改修 190m 【永山川】 用地購入 1式	【永山川】 詳細設計 1式 用地購入 1式 鉄道橋架替	【永山川】 用地購入 1式 鉄道橋架替		

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	183,331	483,307	191,723	471,705	464,764	435,264	176,877	0	176,877	0
伸び率(%)	△4.8%	124.8%	4.6%	△2.4%	142.4%	△7.7%	△61.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	14,066	38,015	34,794	38,377	26,195	38,377	0	0
	正規職員以外	0	1,415	523	523	813	140	673	0	0
	小計	0	15,481	38,538	35,317	39,190	26,335	39,050	0	0
国庫支出金	60,000	157,100	57,000	152,700	150,000	124,500	56,658	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	115,900	308,400	131,600	313,400	311,300	258,200	118,000	0	0	0
その他	0	14,485	0	0	0	49,767	0	0	0	0
一般財源(税等)	7,431	3,322	3,123	5,605	3,464	2,797	2,219	0	176,877	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	1.76	4.72	4.32	4.82	3.29	4.82	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.57	0.21	0.21	0.42	0.21	0.21	0.00	0.00
主な予算内訳	工事請負費76,430千円 鉄道橋架替工事負担金78,798千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
準用河川(永山川)の用地買収面積(累計)		m2	目標値	304	2275	5985	6256					
			実績値	304	2275	5985						
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%				
準用河川(永山川)の用地買収率		%	目標値	3	22.3	54.6	57.1					
			実績値	3	22.3	54.6						
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%				

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>準用河川永山川は、永山川及び平尾川の流下能力不足、中上流部にある用水樋門による断面阻害により、緊急輸送路である県道と歌山橋本線も度々浸水しており、早急な浸水解消が必要である。永山川の河道改修及び平尾川のバイパス新設を行い、大幅な浸水被害の解消を目指す。</p>
見直し・改善内容	<p>永山川改修事業は、用地買収等を先行し早期の事業完了を目指す。</p>